

日本ビタミン学会第 77 回大会企画にあたって

日本ビタミン学会第 77 回大会委員長
北里大学薬学部衛生化学講座

今井 浩孝

この度、日本ビタミン学会第 77 回大会を、2025 年 6 月 28 日(土)から 29 日(日)に、北里大学白金キャンパスにおいて、開催することになりました。大会を主催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

日本ビタミン学会は、1949 年 5 月に設立され、世界に類のないビタミン学に特化した学会として発展してまいりました。医学、薬学、農学、工学、理学、生活科学など極めて広い範囲の研究者が集まり、栄養学や生化学、分子生物学などの領域にとどまらず、遺伝学、免疫学、がん、老化、疾患研究など様々な分野に広がりを見せています。

大会会場は北里大学白金キャンパス内にあります大村記念ホールおよび 2 号館講義室です。本場所は、本年 7 月 3 日に発行された新 1000 円札に採用された北里柴三郎博士が北里研究所を設立した場所であり、北里柴三郎博士は、当時の定説であった、「脚気の原因が脚気菌によるもの」ではないことを明らかにし、のちのビタミン B₁ の発見につながります。今回、北里柴三郎博士のひ孫にあたる北里英郎先生に「北里柴三郎のひととなり」について特別講演を依頼いたしました。今回の大会テーマである「叡智と実践」は北里建学の精神のひとつで、「学んで得た知識と技術を実践の場にかし社会に還元する」ことであり、まさにビタミン学はこれに一致します。本大会では、この精神に基づき、臨床、企業、学術研究の 3 つの観点からシンポジウムを企画しました。

2025 年からは、新しい「日本人の食事摂取基準」がスタートします。臨床栄養の場で使用するビタミンの推奨量の決定についての問題点等を議論します。また企業シンポジウムでは、最近注目されている栄養素としてのコリンについて新しい知見、企業視点から議論します。最後に学術研究のシンポジウムでは、ビタミン B および C の新しい体内への取り込み・排出機構や新規のレチノイン酸受容体やビタミン E や葉酸により制御される新規の酵素についての最新の話題を取り扱います。さらにこれらに加え、特別講演、教育講演、一般講演、ランチョンセミナー、および企業展示を企画しますので、ビタミンや微量栄養素の役割を再確認し、ポストコロナ時代に向けた、ビタミンやバイオファクターの重要性について、議論していければと思います。

第 77 回大会の実行委員一同、多くの会員の皆様の参加をいただき、本大会が実りあるものになるよう鋭意努力する所存でありますので、関係各位のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。なお、未筆ながら、大会開催にご支援頂いております団体、企業、関係者の皆様に心から御礼申し上げます。